

自治体名	矢板市教育委員会 担当課：教育部 教育総務課 電話番号：0287-43-6217
------	--

1. 事業の概要について

1.1 基本情報（令和4年度4月末時点）

① 中学校数	4校	② 生徒数	739人	③ 部活動数	23部活
--------	----	-------	------	--------	------

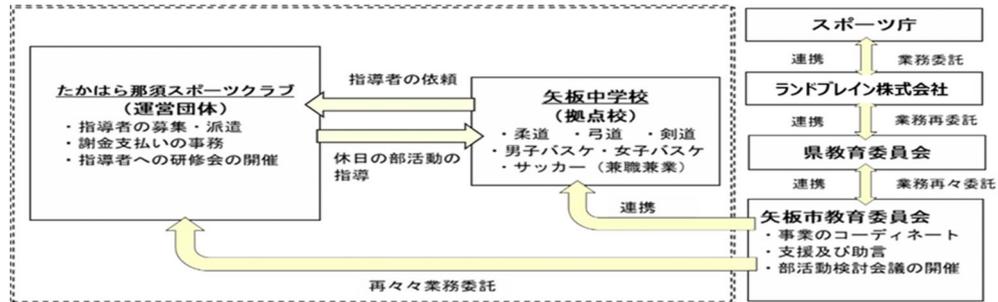
1.2 地域における現状・課題

- ・生徒数（部員数）の減少や教員数（顧問教員数）の減少により、生徒が希望する種目を選択できないことや、顧問教員の異動により、それまで活発に行ってきた部活動が停滞し休廃部にいたる可能性がある。
- ・部活動は、教師の長時間勤務の要因であることや、指導経験のない教師には多大な負担となっていることから、教師の負担軽減を考慮した適切な指導体制の構築が必要である。
- ・学校部活動はこれまで学校教育活動において重要な意義や役割を果たしてきた。地域指導者の意識改革や研修会（事故・セクハラ・体罰防止含む）を活用した資質向上が必要である。
- ・学校部活動顧問や地域指導者が一貫して指導に当たれる協力体制の構築が課題である。

1.3 実践研究における取組目標

- ・対象となる運動部活動顧問の時間外勤務総時間数を削減できるようにし、教員の負担軽減を図る。
- ・専門的な技術指導による生徒の意欲や技術の向上を図る。
- ・平日も指導に携わっている運動部活動補助員や部活動指導員が週休日も積極的に参加し、顧問と連携しながら一貫した指導を行う。

1.4 実践研究の運営体制



2. 地域連携や地域移行の推進に向けた体制整備の取組について

- (1) 第1回矢板市部活動改革検討会議 令和4年4月9日（土）実施
 - ・矢板市運動部活動の方針について
 - ・矢板市立矢板中学校の部活動計画について
- (2) 令和4年度矢板市地域部活動指導者研修会 令和4年6月27日（月）実施
 - ・講話「指導員に求められる資質について」講師；栃木県教育委員会 指導主事
- (3) 第2回矢板市部活動改革検討会議 令和5年3月18日（土）
 - ・令和4年度地域部活動推進事業について
 - ・令和5年度矢板市地域クラブ活動実証事業（案）について

3. 実践研究校における取組について

3.1 実践研究校情報 《矢板市立矢板中学校》

① 運営主体	特定非営利活動法人 たかはら那須スポーツクラブ
② 指導者の派遣期間	令和4年4月1日～令和5年1月31日
③ 種目 参加者数 指導者属性 ※参加者数は令和4年6月現在	<ul style="list-style-type: none"> ・弓道部（平日は矢板市運動部活動指導員、休日はクラブ指導員）54人 ・剣道部（平日は矢板市運動部活動指導員、休日はクラブ指導員）5人 ・柔道部（平日は矢板市運動部活動指導員、休日はクラブ指導員）11人 ・男子バスケットボール部（平日は教員、休日はクラブ指導員）33人 ・女子バスケットボール部（平日は教員、休日はクラブ指導員）13人 ・サッカー部（教員の兼職兼業）19人
④ 活動日	<ul style="list-style-type: none"> ・週休日…土曜日又は日曜日どちらか1日 ・休日 ※「矢板市立中学校に係る運動部活動の方針」適切な休養日の設定を遵守

⑤ 主な活動場所	矢板市立矢板中学校、矢板市の施設（武道場、弓道場）
⑥ 指導者人数	6人
⑦ 謝金単価	1人あたり1,400円/時間
⑧ 参加会費の有無・金額	徴収なし

3.2 参加者の声（生徒、保護者、教師、指導者等）

「休日の地域部活動に関するアンケート」（栃木県教育委員会スポーツ振興課）

(ア) 対象者 学校長、生徒、教職員（全員）、保護者、地域部活動指導者

(イ) 調査結果 ※矢板市の結果から抜粋

- ・休日の地域部活動での地域指導者の指導を受けて、生徒の約5割が「指導がわかりやすい」「体力・技術が向上している」、生徒の約4割が「部活動がもっと好きになった」と回答している。
- ・休日の地域部活動は校長や教員の多くは教員の負担軽減に繋がったと感じている。
- ・生徒の約8割が「次年度も休日の地域部活動に参加したい」、保護者の約8割が「次年度も休日の部活動は地域部活動として実施して欲しい」と回答している。

3.3 各実践研究校での取組を通じて挙げた課題や解決方法、取組において特に工夫した点

(1) 指導者の確保

運営団体だけで指導人材を確保することは大きな課題である。このことから、矢板市としては、市のスポーツ協会に指導者の紹介を依頼したり、学校部活動外部指導者を運営団体に紹介したりした。

(2) 指導者の育成

専門性の高い指導者の養成が必要である。年度当初の会議において、部活動のガイドラインや学校部活動の方針等を指導者に説明をし、理解の促進を図った。また、市教委主催で研修会を実施したり、県の研修会に参加するように促したりした。

4. 実践研究の成果と今後の課題

4.1 実践研究での検証から得た成果

- ・対象となる運動部活動顧問の時間外勤務総時間数が削減され、教員の負担軽減を図ることにつながった。
- ・専門的な技術指導による生徒の意欲や技術の向上を図ることができた。
- ・平日も指導に携わっている運動部活動補助員や部活動指導員が週休日も積極的に参加し、顧問と連携しながら一貫した指導を行うことができるように努めた。

4.2 地域移行における今後の課題と対応

【関係者との連絡調整・連携体制の構築方策】

矢板市地域クラブ活動協議会の開催…地域クラブ活動についての共通理解を図り、各関係機関で連携する体制を整備するために協議会を定期的に開催する。

【受け皿団体の確保方策】

受け皿となる運営団体は、中学生の地域における新たなスポーツ・文化芸術活動の環境を整備する役割があることから、公益性が高く活動基盤や財政基盤が安定していることが望ましいと考える。

【指導者の確保方策】

地域クラブ活動の運営団体は、指導者を確保し指導者を育成する必要があるが、運営団体だけで行うのは難しいと想定される。市スポーツ協会等様々な機関から指導者を確保するための支援と、指導者を育成するための支援を行っていく。

【困窮世帯への支援方策】

生活困窮世帯の生徒に対する支援の在り方について、今後も国と県の動向を踏まえながら検討していく。

【地域移行の自走化に向けた方策】

運営団体が学校、地域との連携を積極的に図ったり、指導者の地域クラブでの活動状況等を把握し、教育委員会や学校等と情報の共有を図りながら、適切な配置・運用をしたりすることができるよう、教育委員会が運営団体を支援していく。

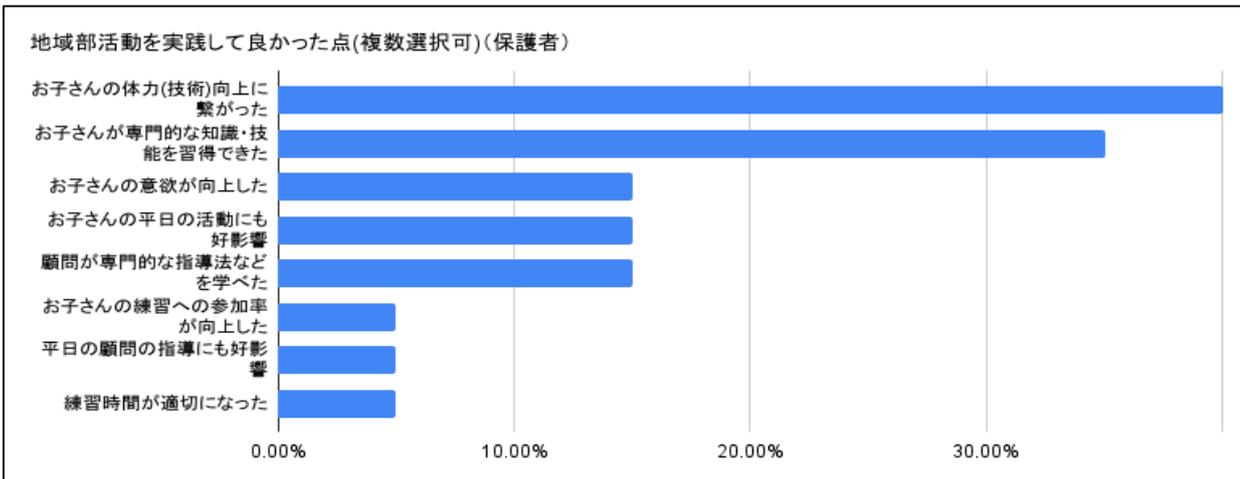
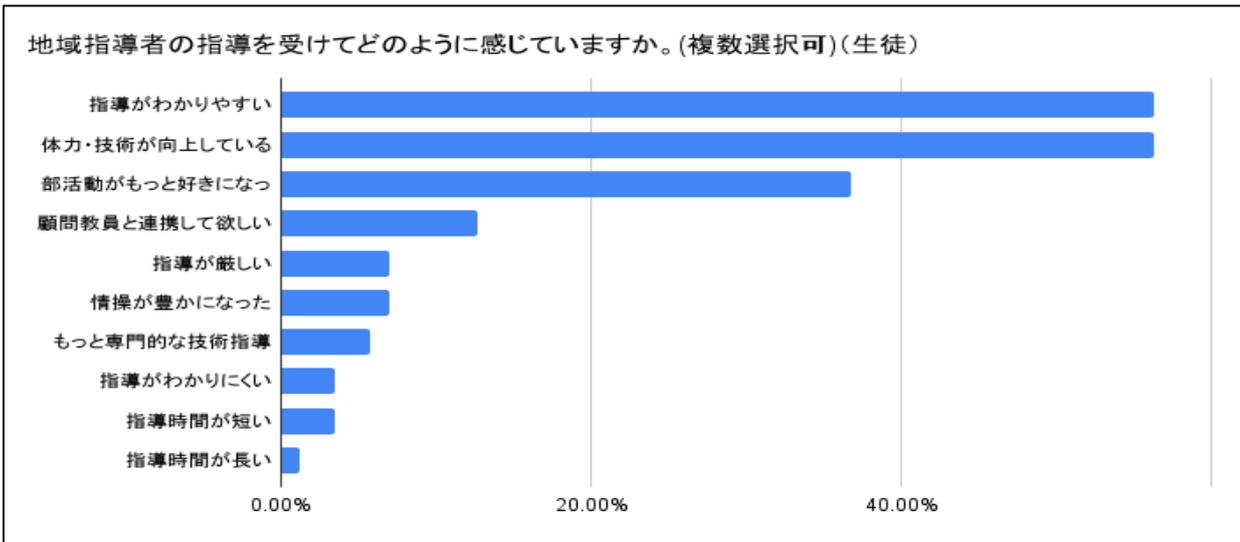
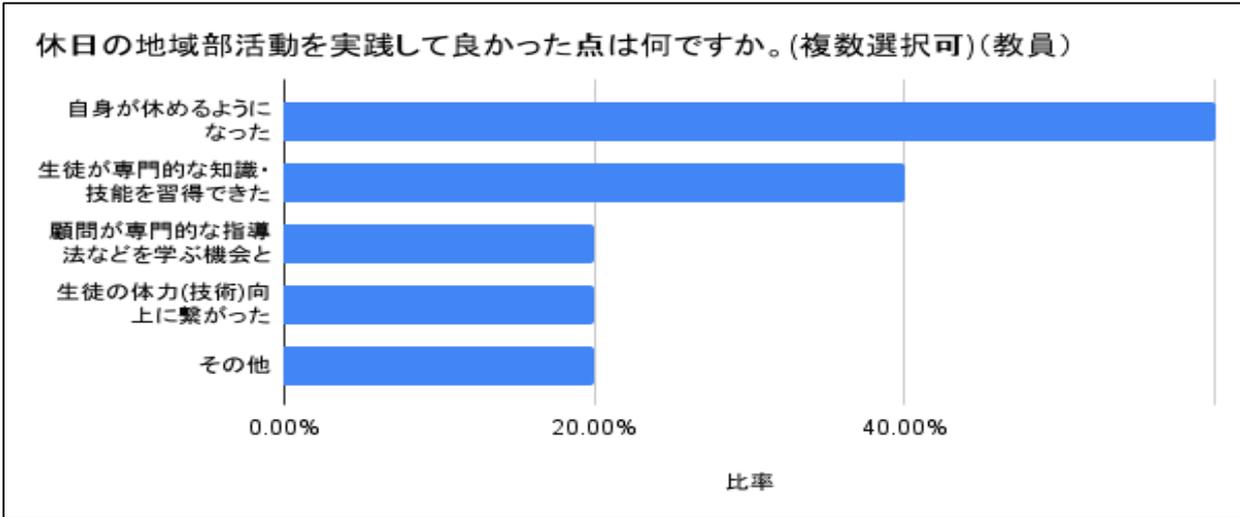
【地域特有の課題への対応策】

地域の人口減少に伴い、生徒数の減少や指導者の不足、指導者の高齢化などといった課題が考えられる。各種目における参加生徒数や指導者数の適正化や市内中学校の合同クラブ活動を検討したりする。

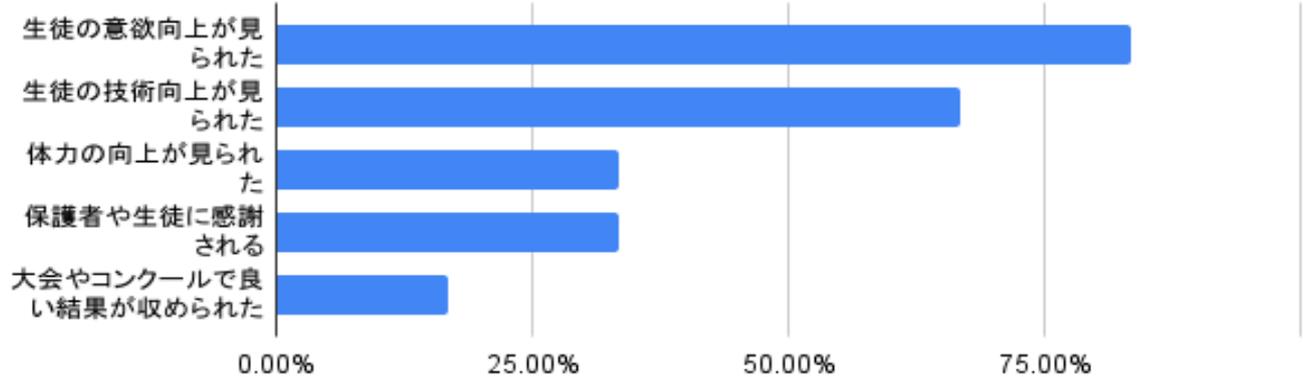
「休日の地域部活動に関するアンケート」

- 1 対象者 学校長、教職員、生徒（1・2年生全員）、保護者（1・2年生全員）、地域部活動指導者
- 2 実施期間 令和5年1月4日（水）～17日（火）
- 3 調査結果 矢板市の結果から一部抜粋

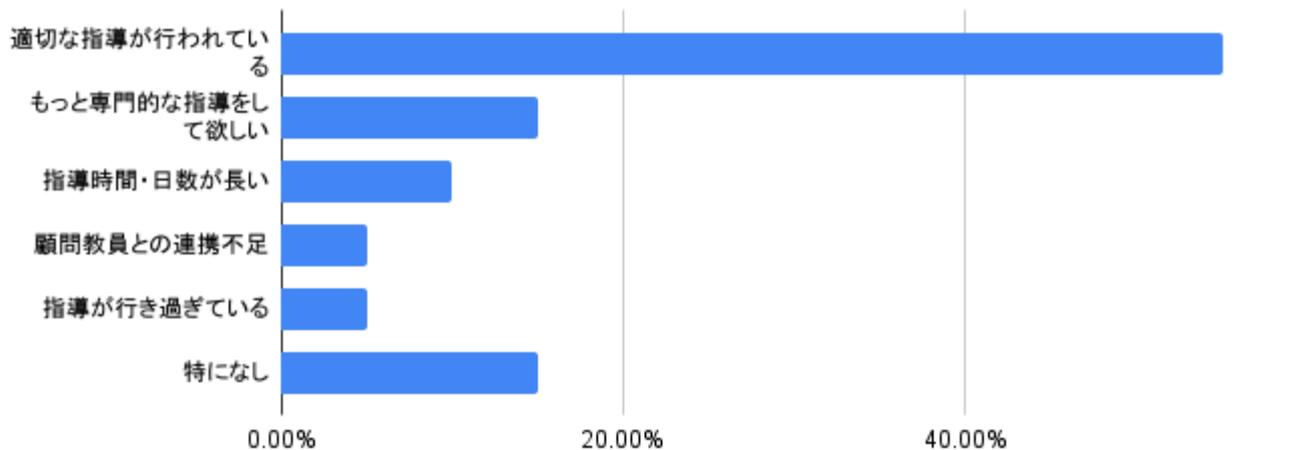
【地域部活動を実践しての成果】



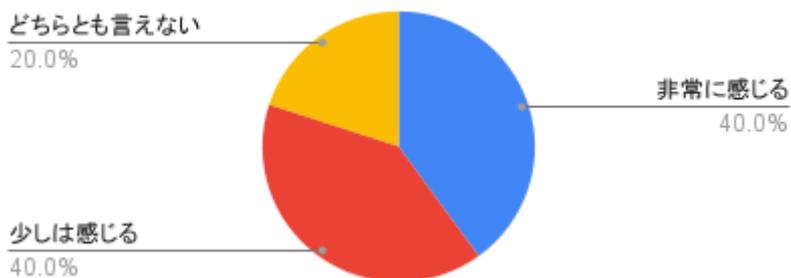
地域部活動を実践して、良かったと感じること(複数選択可)(地域指導者)



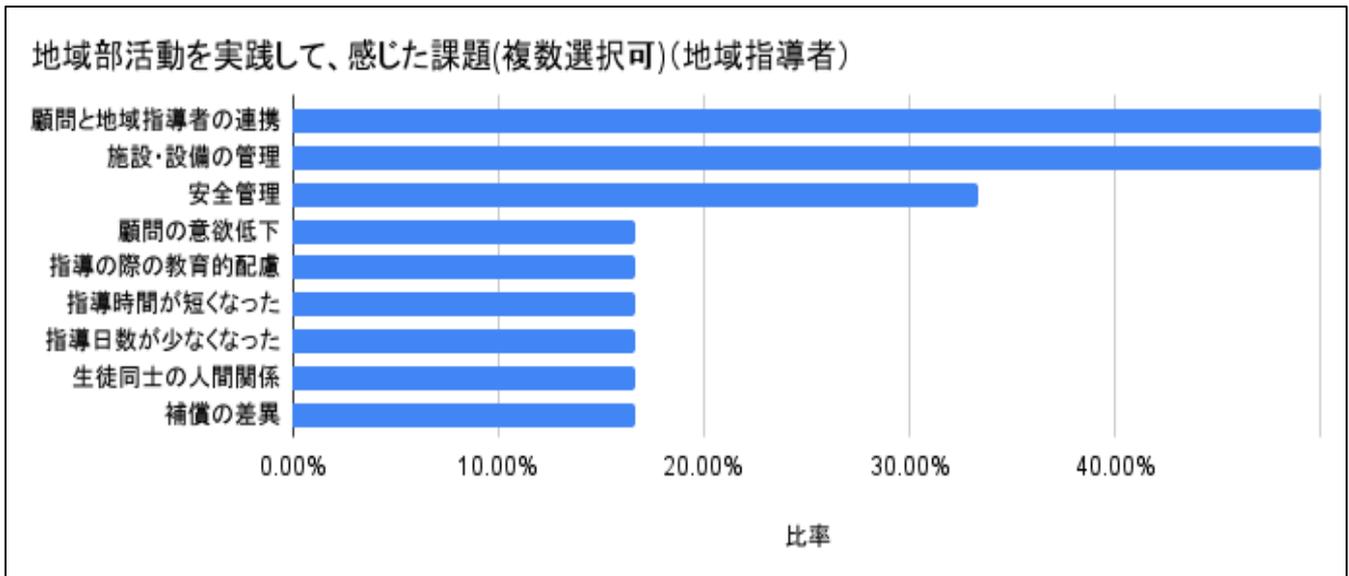
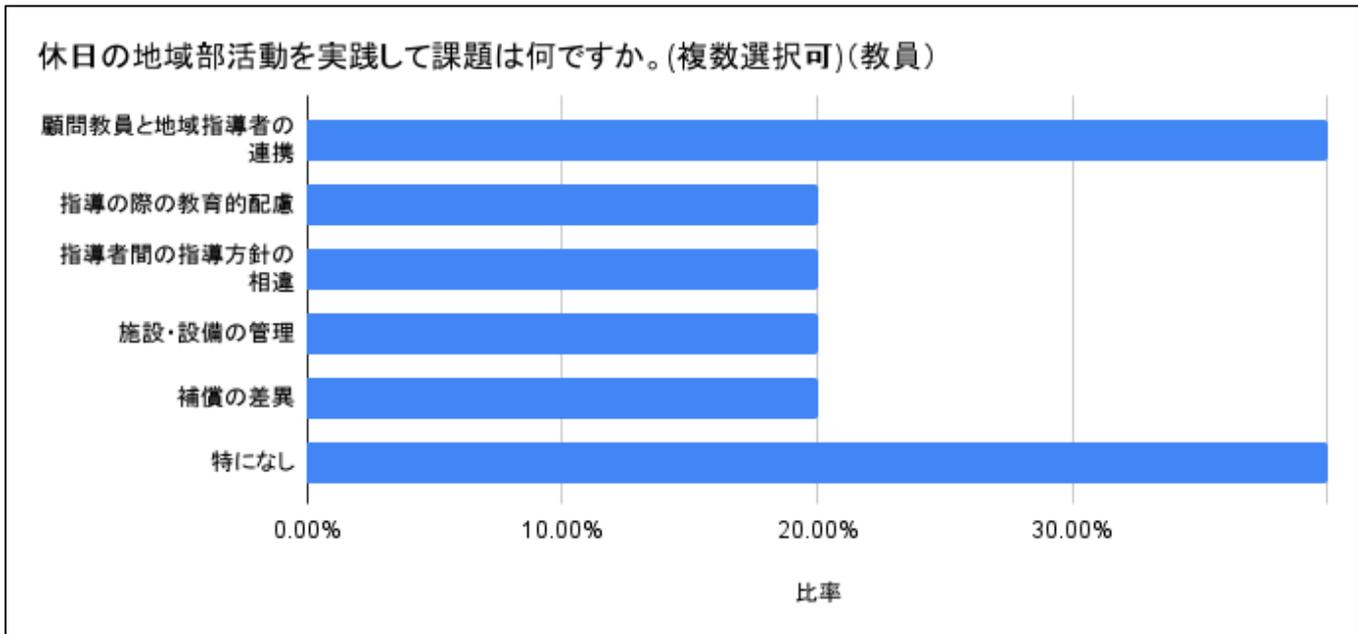
地域指導者の指導について感じていること(複数選択可)(保護者)



御自身の負担軽減に繋がったと感じますか(教員)

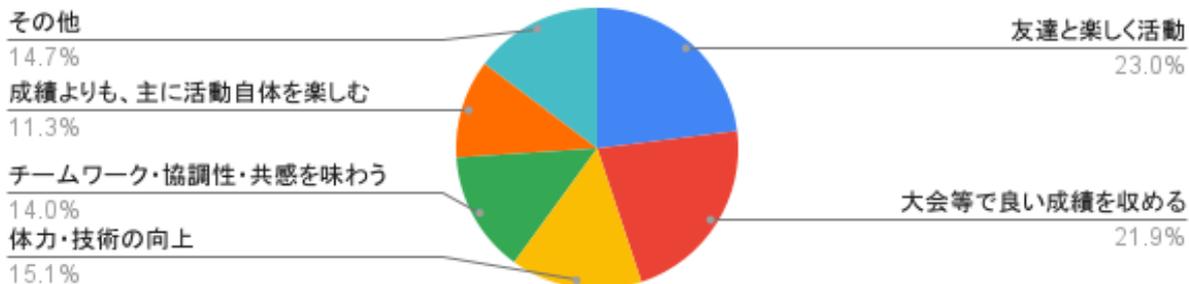


【地域部活動を実践しての課題】

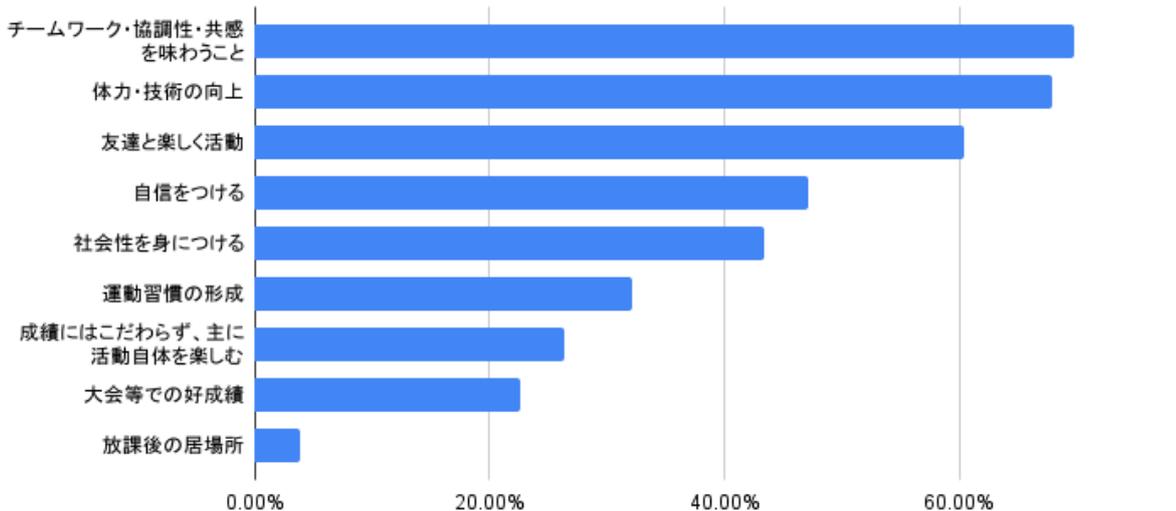


【部活動に求めていること】

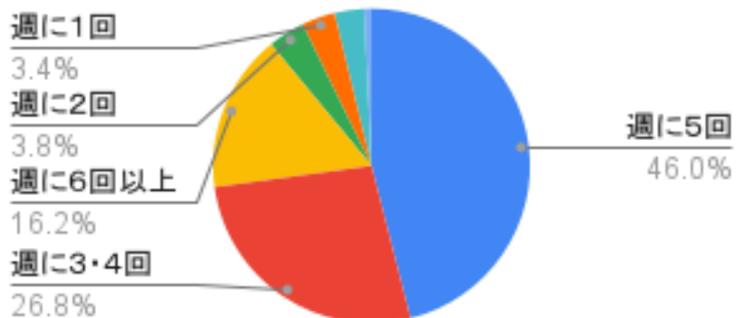
部活動に所属している目的はどれに当てはまりますか。(生徒)



部活動に、特に期待すること(複数選択可)(保護者)



部活動の活動頻度の希望(生徒)



【部活動の地域移行について】

部活動は将来、どうあるべきと考えますか(教員)

その他

7.1%

平日は学校、休日は地域で行うべき

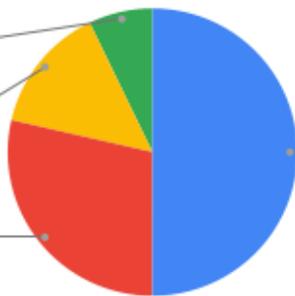
14.3%

学校教育の一環として学校で行うべき

28.6%

地域で行うべき

50.0%



部活動は将来、どうあるべきと考えますか(地域指導者)

その他

16.7%

平日は学校、休日は地域で行うべき

33.3%

地域で行うべき

16.7%

学校教育の一環として学校で行うべき

33.3%



部活動は将来、どうあるべきと考えますか。(保護者)

その他

18.9%

地域で行うべき

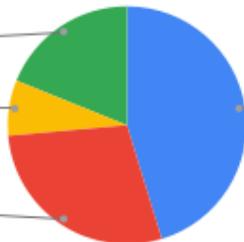
7.6%

平日は学校、休日は地域で行うべき

45.3%

学校教育の一環として学校で行うべき

28.3%



地域部活動に月謝を支払うことになったら(生徒)

参加したくない

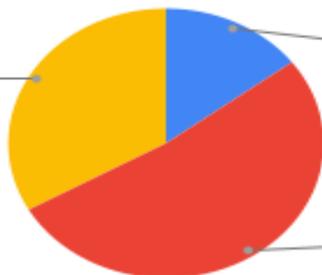
33.2%

参加したい

14.7%

どちらとも言えない

52.1%



地域部活動に保護者負担があっても参加させたいか(保護者)

参加させたくない

9.4%

とても参加させたい

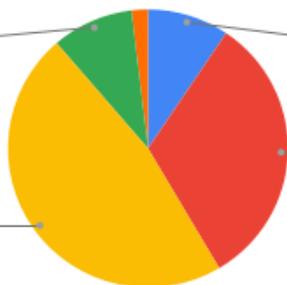
9.4%

参加させたい

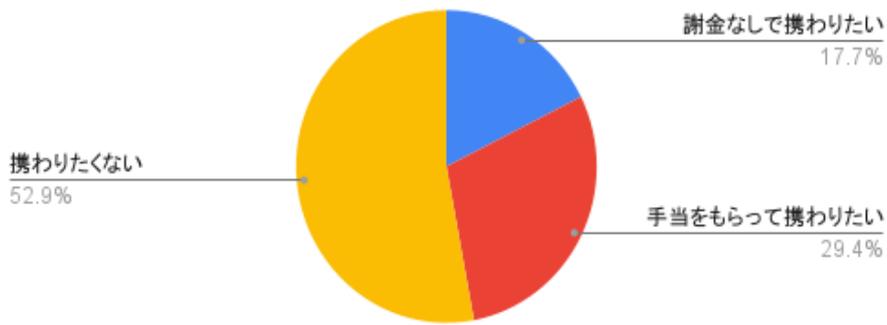
32.1%

どちらとも言えない

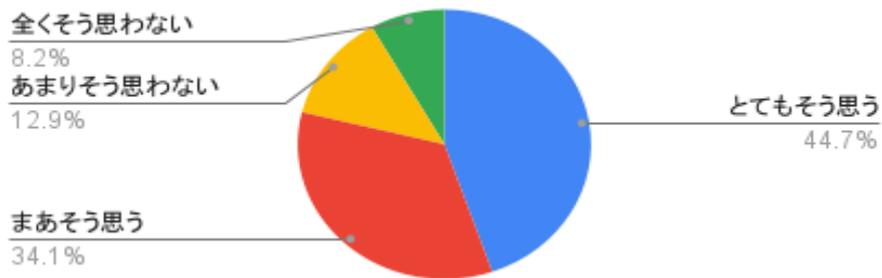
47.2%



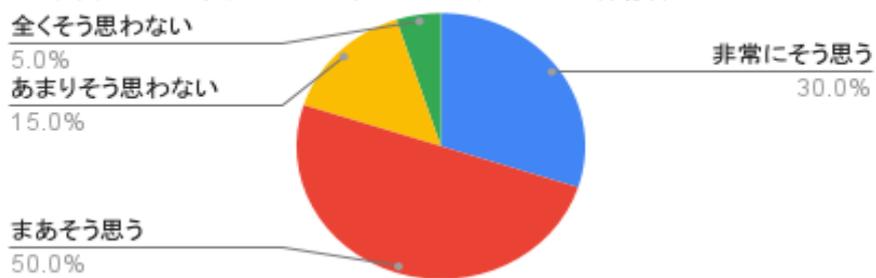
休日の部活動が地域に移行した際に指導に携わりたいですか(教員)



次年度も休日の地域部活動に参加したいと思うか(生徒)



次年度も地域部活動として実施して欲しいか(保護者)



令和4年度矢板市地域部活動指導者研修会要項

1 目的

バランスのとれた心身の成長と豊かな学校生活を送ることが実現できるようにするために、適切な休養日の設定や生徒の事故防止、指導者の体罰防止など、適正に地域部活動が運営されるよう研修会を実施し、指導者の資質向上を図る。

2 実施日 令和4年6月27日（月）15：00～16：00

4 場所 たかはら那須スポーツクラブ クラブハウス 会議室

5 参加者

- ・地域部活動指導者
（弓道部、剣道部、柔道部、サッカー部、男子バスケットボール部、女子バスケットボール部）
- ・矢板市立矢板中学校（代表者）
- ・たかはら那須スポーツクラブ
- ・矢板市国体・スポーツ局
- ・矢板市生涯学習課
- ・矢板市教育総務課

6 日程及び内容

- (1) 受付 [14：45～]
- (2) 開会 [15：00]
- (3) 講話「部活動指導員に求められる資質について」 [15：00～15：30]
講師；塩谷南那須教育事務所 角田 光俊
- (4) 説明「諸帳簿への記入について」 [15：30～15：40]
説明者；矢板市教育総務課 森本 聡
- (5) 質疑応答・情報交換 [15：40～16：00]
- (6) 閉会 [16：00]